

工場内の全設備機器をトータル管理『ユーティリティ設備の統合管理』

■課題

工場内で使用される熱や電気などのエネルギーを供給する設備をことユーティリティ設備と言います。生産プロセスで不可欠です。生産効率を向上させるためには、実際の使用エネルギー量を把握し、効率的に運用することが重要になります。また、設備の機能が常に正しく機能するか日々の点検も必要になります。

■概要・期待効果

ユーティリティ設備の状態をセンサーで計測してデータを無線で集計します。無線のメリットとして広大な敷地内の配線敷設やレイアウト変更が容易にできる点につきます。様々な設備のデータを集める事で、設備保全業務や環境エネルギーマネジメント、生産効率の改善に期待ができます。異常時の警報メールにより最適の稼働状態が目指せます。

